

## 第 177 号 内容紹介

### 1, R.バラウド「ガザはイスラエルをどう打ち破ったか」

ハマスは生き残り、人質全員の解放もされなかった。イスラエルの極右派が「降伏合意」と呼んで反対した「停戦」に追い込んだガザとパレスチナの抵抗はなぜ持ちこたえたのか。パレスチナにかすかな展望を与える。

### 2, C. ヘッジス「ガザ停戦のジェスチャー」

大量殺りくの停止を祈りたいが、段階的な合意を結んで望むものを手に入れ、次の段階で破棄して軍事攻撃を再開するのはイスラエルの常套手段。楽観は禁物だ。

### 3, T・マルカス「メキシコで第四の改革が前進」

メキシコの革新政権を引き継いだ女性のシェインバウム大統領就任百日。多方面の社会改革が前進して、メキシコの憲法広場をうめた群衆から圧倒的な支持をうけた。

### 4, O.バラバノフ「BRICS 招待国の国連決議の投票動向」

今年からパートナー国になった諸国は、ウクライナ戦争などの国連総会決議にどう投票したか。グローバルサウスの国々の多様な立ち位

置を分析する。

## 5, 南ア共産党「ANC 創立113年、その成果と喫緊の課題」

アパルトヘイト廃絶のたたかいとその後の成果にたって、1200万人の失業など国は差し迫った課題の直面している。南ア国内の問題への率直な自己分析と提言。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala\\_newsの編集日記 \(livedoona愛用紹介r.jp\)](#))